資料３

会津若松市第３期環境基本計画の進捗状況について

１　第３期環境基本計画とは

環境基本条例第３条の基本理念に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和６年（2024 年）３月に策定したもので、第７次総合計画を環境面から実現する、環境行政の最上位の計画です。

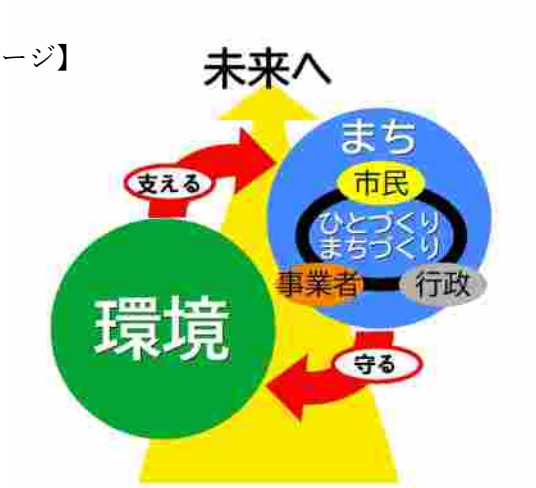
⑴　計画期間　令和６年（2024 年）度から令和 12 年（2030 年）度（７年間）

⑵　目指す将来像

地球温暖化問題をはじめ、様々な環境問題に対応するためには、市民をはじめ、事業者や行政等の様々な主体（＝みんな）が、環境という確固たる基盤の上に社会、経済が成り立っているということを認識し、それぞれの立場で環境の保全及び創造に寄与する取組を実行し、環境を守る“ひとづくり”と“まちづくり”を同時に行っていくことが重要であると考え、次の将来像を設定しました。

「環境とともに活きる“ひと”と“まち”　みんなで未来につなぐ 会津若松」

【イメージ】



⑶　基本目標

目指す将来像を実現するため、４つの基本目標を設定しました。
また、基本目標の達成のため、それぞれの目標に向けた取組を設定しました。

基本目標１	脱炭素で環境・経済・社会が調和した“まち”をつくる
基本目標２	緑豊かな自然を保全し、多様な生物が共生できる“まち”をつくる
基本目標３	きれいな環境を保全し、安全・安心に暮らせる“まち”をつくる
基本目標４	環境に関わる“ひと”を育て、協働する“まち”をつくる

２　令和７年度の取組状況

本計画の初年度として、各取組を推進しています。

⑴　基本目標１「脱炭素で環境・経済・社会が調和した“まち”をつくる」

取組１－１　省エネルギー・電化を推進します
取組１－２　再生可能エネルギーの地産地消を推進します（新エネルギービジョン）
取組１－３　３R＋Renewwable を推進します（バイオマス活用推進計画）
取組１－４　温室効果ガス吸収源対策等を推進します
取組１－５　気候変動への適応を推進します（気候変動適応計画）

【環境目標】

取組	項目		現状値（令和４年度）	中間目標値（令和９年度）	目標値（令和 12 年度）
1-1	一次エネルギー需要量		11,706.3TJ（R 元）	8,578.1TJ	7,745.4TJ
	省エネに関するイベントの参加人数		117 人	2,200 人	5,000 人
	長期優良認定住宅数（累計）		1,257 件	2,300 件	2,900 件
	電気自動車・プラグインハイブリッド車台数		459 台	2,500 台	5,800 台
	燃料電池自動車台数		3 台	16 台	37 台
	充電器設置数（一般家庭除く）		45 口	189 口	275 口
1-2	再生可能エネルギーの供給目標値		7,387.3TJ	8,414.8TJ	8,472.1TJ
	使用電力のうち地産地消エネルギー（地域産再生可能エネルギーの使用）の割合		1.6%（0.45%）	7.9%	11.6%
	ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークのパートナー団体数		0 団体	100 団体	270 団体
1-3	1 人 1 日あたりのごみ排出量		1,229g	970g	970g
	１日あたりの燃やせるごみ排出量		104.2t	82.1t	82.1t
	ごみの総リサイクル量		11,469t	13,000t 以上	13,000t 以上
	バイオマスの活用目標	生ごみ利用率	21%	50%	63%
		下水汚泥利用率	66%	75%	85%
		廃食用油利用率	39%	60%	63%
		間伐材利用率	24%	33%	50%
	食べ残しゼロ協力店・事業所数		61 件	150 件	200 件
	市内事業者のうつくしまエコリサイクル製品認定数（累計）		0 件	4 件	7 件
1-4	森林施業面積		2,126ha	2,417ha	2,417ha
	公共交通機関の利用者		1,128,567 人	1,780,000 人	1,780,000 人

（主な取組）

・環境配慮方針に基づく電力調達

市公共施設において令和７年度から本庁舎など脱炭素先行地域内９施設、令和８年度から学校施設等を加えた 39 施設において市内産再エネ 100%電力を使用しています。

・脱炭素先行地域における脱炭素推進事業

国交付金を活用し、民間事業者に対し再エネ発電や省エネ設備等の導入支援を行うとともに、市公共施設における再エネ発電、省エネ設備導入、PPA 事業による再エネ供給などを進めています。

・熱中症対策

熱中症警戒情報が発令された際、市民へ適切に周知するとともに、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）22 施設（R8.10.14 現在）の開放や県と連携した「涼み処」の周知を実施しています。

⑵ 基本目標２「緑豊かな自然を保全し、多様な生物が共生できる“まち”をつくる

取組２－１　生物多様性を保全します 取組２－２　多様な生物が共生できる自然環境を保全します 取組２－３　猪苗代湖の水環境を保全します（猪苗代湖水環境保全推進計画）

【環境目標】

取組	項目		現状値 （令和４年度）	中間目標値 （令和９年度）	目標値 （令和12年度）
2-1	野生生物保全事業への参加人数		70人	80人	100人
	「生き物マップ」登録件数		0件	400件	700件
	市街地における鳥害の発生件数		15件	5件	3件
	環境保全型農業直接支払事業の取組面積		9,829a	10,724a	13,493a
	自然環境や動植物の保護を行う市民の割合		10.5% (H30)	60%	60%
2-2	緑化・自然交流事業への参加人数		3,025人	8,020人	8,020人
	森林施業面積		2,126ha	2,417ha	2,417ha
	多面的機能支払事業の対象農用地面積		4,481ha	5,000ha	5,000ha
	全農地における遊休農地の割合		0.45%	0.42%	0.42%
2-3	猪苗代湖及び流入河川の水質	中田浜COD	1.3mg/ℓ	0.7mg/ℓ	0.7mg/ℓ
		中田浜窒素	0.22mg/ℓ	0.2mg/ℓ	0.2mg/ℓ
		中田浜リン	0.005mg/ℓ	0.01mg/ℓ	0.01mg/ℓ
		赤井川BOD	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ
		赤井川窒素	1.17mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ
		赤井川リン	0.121mg/ℓ	0.08mg/ℓ	0.08mg/ℓ
		原川BOD	0.5mg/ℓ	0.5mg/ℓ	0.5mg/ℓ
		原川窒素	0.45mg/ℓ	0.4mg/ℓ	0.4mg/ℓ
		原川リン	0.024mg/ℓ	0.02mg/ℓ	0.02mg/ℓ
	農業集落施設水洗化率		赤井：98.8% 共和：95.0%	赤井：99.6% 共和：94.7%	赤井：99.9% 共和：95.0%
	高度処理型浄化槽の普及率（湊地区）		35.9%	40.6%	42.4%
	猪苗代湖・流域清掃活動参加者数		未実施	530人	500人

（主な取組）

・猪苗代湖の水環境の保全

ラムサール条約湿地として登録された猪苗代湖の水環境の保全を図るため、「猪苗代湖環境保全推進連絡会」や「猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会」が中心となり、湖岸清掃活動などを実施しています。

・鳥害対策

携帯型鳥獣対策用LED照明「ホロライト・チェッカーズ」を活用しながら、市街地における鳥害対策を実施しています。

・「会津若松市いきものマップ」

市民から寄せられた生き物に関する情報を活用した「いきものマップ」を公開し、市内　の環境を知ること、身近な生き物にふれて観察することを通し、環境への関心を深め環境保全への意識の醸成に取り組んでいます。

⑶ 基本目標３「きれいな環境を保全し、安全・安心に暮らせる“まち”をつくる」

取組３－１　空気・水・土を保全し、きれいな環境を守ります 取組３－２　ごみによる環境の悪化を防ぎ、良好な生活環境を守ります

【環境目標】

取組	項目		現状値 （令和４年度）	中間目標値 （令和９年度）	目標値 （令和12年度）
3-1	河川水質の基準値達成率		100%	100%	100%
	汚水処理人口普及率		88.4%	90.7%	92.8%
	水質事故発生件数		33件	15件	10件
	地下水における有機塩素化合物検出率	非飲用	78%	100%	100%
		飲用	100%	100%	100%
	自動車騒音に係る環境基準の達成率		83%	100%	100%
	公害苦情相談件数		33件	15件	10件
	放射線の影響に不安を感じる市民の割合		市民：18.3% 児童：42.7%	0%	0%
3-2	清掃事業への参加人数		701人	1,500人	1,700人
	野焼き相談件数		14件	0件	0件
	農業用使用済プラスチック回収量		88,738kg	75,000kg	70,000kg

（主な取組）

・各種環境調査
自動車騒音、高速道路騒音、飲用・非飲用地下水、主要河川等の水質、悪臭、環境放射線等の各種調査を継続的に実施し、生活環境の保全に努めています。

・ハッピークリーンキャンペーン
鶴ヶ城ハーフマラソン大会に合わせ、ハッピークリーンキャンペーンとして、大会前日にマラソンコースを中心とした一斉清掃を実施しています。

・「ごみステーション美化事業」
ネットから折りたたみ式への変更を勧奨することにより、生活環境の美化に努めています。

⑷ 基本目標４「環境に関わる“ひと”を育て、協働する“まち”をつくる」

取組４－１　環境を守るひとを育てます 取組４－２　協働による環境の保全・創造を推進します

【環境目標】

取組	項目	現状値 （令和４年度）	中間目標値 （令和９年度）	目標値 （令和12年度）
4-1	環境学習・セミナー等への参加人数	379名	1,185名	1,440名
	環境関連の出前講座の実施回数	23回	38回	59回
4-2	環境啓発事業参加者数	102名	2,000名	5,000名
	ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークのパートナー団体数	0団体	100団体	270団体
	公園等緑化愛護会数	72団体	90団体	95団体

（主な取組）

・「×（かける）環境アクション」

日常の行動が環境行動につながるという気づきを「×（かける）環境アクション」の取組によって促しています。具体例としては、第34回環境フェスタでは、テーマを「私たちが今できること×（かける）環境アクション」と設定し、出展者や来場者は、昨年自らが『宣言』した環境アクションに対して、どのような行動をすることができたかをイベント内で記載いただき、見える化する取組を行いました。

・ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワーク

ゼロカーボンシティ会津若松の実現を目指し、ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークに、市民や事業者に会員として参加していただき、相互の連携や意見交換、情報共有等を行っています。

会員数（R8.8.27現在）パートナー市民：121名、サポート団体：81団体

・環境大賞

環境保全意識の高揚や環境保全への取組の促進を図るため、日頃から自主的・積極的に環境に取り組む市民や団体を表彰しました。（R8.10.31）

環境大賞　１団体

環境賞　　個人部門：１名、団体部門：４団体、事業所部門：４事業所

３　進行管理

本計画の進行を環境マネジメントシステムの基本的なサイクル（ＰＤＣＡサイクル）に則った形で管理します。

⑴　取組の実施状況の把握と公表

本計画では、基本目標ごとに具体的な数値目標を設けており、市が毎年度数値を把握することで取組の実施状況の把握・評価を行います。

把握した取組の実施状況等は、毎年度、報告書として取りまとめ、環境審議会等に報告するとともに、「会津若松市の環境」を作成し、市ホームページ等を通じて公表し、「環境管理委員会」で評価を受けます。

⑵　今後のスケジュール

令和９年度　第４期地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）の中間見直しによる新たな目標値に対して、実施計画を作成します。

令和7年度　環境目標進捗状況一覧

	取組	環境目標			目標値と実績値				R9に向けた目標達成率
					現状値(R4)	R7実績値	中間目標値(R9)	目標値(R12)	
基本目標1	1-1	一次エネルギー需要量			11,706.3TJ(R元)	11,816.5TJ(R4)	8,578.1TJ	7,745.4TJ	7.3%
		省エネに関するイベ ントの参加人数			117人	43人	2,200人	5,000人	2.0%
		長期優良認定住宅数（累計）			1，257件	1,072件	2,300件	2,900件	46.6%
		電気自動車・プラグインハイブリッド車台数			459台	613台	2,500台	5,800台	24.5%
		燃料電池自動車台数			3台	6台	16台	37台	37.5%
		充電器設置数(一般家庭除く)			45口	78口	189口	275口	41.3%
	1-2	再生可能エネルギー の供給目標値			7,387.3TJ(R元)	7,629.4TJ	8,414.8TJ	8,472.1TJ	90.7%
		使用電力のうち地産地消エネルギー(地域産再生可能エネルギーの使用)の割合			1.6%	0.7%(R6)	7.9%	11.6%	8.9%
		ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークのパートナー団体数			0団体	0団体	100団体	270団体	0.0%
	1-3	1人1日あたりのごみ排出量			1,229g	1,298g	970g	970g	74.7%
		1日あたりの燃やせるごみ排出量			104.2t	99.9t	82.1t	82.1t	82.2%
		ごみの総リサイクル量			11,469t	11,755t	13,000t以上	13,000t以上	90.4%
		バイオマスの活用目標	生ごみ利用率		21%	19%	50%	63%	38%
			下水汚泥利用率		66%	74%	75%	85%	98.7%
			廃食用油利用率		39%	0.4%	60%	63%	0.7%
			間伐材利用率		24%	37%	33%	50%	112.1%
		食べ残しゼロ協力店・事業所数			61件	73件	150件	200件	48.7%
		市内事業者のうつくしまエコリサイクル製品認定数（累計）			0件	0件	4件	7件	0.0%
	1-4	森林施業面積			2,126ha	10.72ha	2,417ha	2,417ha	44.4%
		公共交通機関の利用			1,128,567人	1，510，000人	1,780,000人	1,780,000人	84.8%
基本目標2	2-1	野生生物保全事業への参加人数			70人	127人	70人	100人	181.4%
		「生き物マップ」登録件数			0件	10件	400件	700件	2.5%
		市街地における鳥害の発生件数			15件	18件	5件	3件	27.8%
		環境保全型農業直接支払事業の取組面積			9,829a	7,971a	10,724a	13,493a	74.3%
		自然環境や動植物の保護を行う市民の割合			10.5%(H30)	—	60%	60%	ー
	2-2	緑化・自然交流事業への参加人数			3,025人	2，880人	8,020人	8,020人	35.9%
		森林施業面積			2,126ha	10.72ha	2,417ha	2,417ha	44.4%
		多面的機能支払事業の対象農用地面積			4,481ha	4,298ha	5,000ha	5,000ha	86.0%
		全農地における遊休農地の割合			0.45%	0.52%	0.42%	0.42%	80.8%
	2-3	猪苗代湖及び流入河川の水質	中田浜	COD	1.3mg/ℓ	2．3mg/ℓ	0.7mg/ℓ	0.7mg/ℓ	30.4%
				全窒素	0.22mg/ℓ	0．17mg/ℓ	0.2mg/ℓ	0.2mg/ℓ	117.6%
				全リン	0.005mg/ℓ	0．010mg/ℓ	0.01mg/ℓ	0.01mg/ℓ	100.0%
			赤井川	BOD	1.1mg/ℓ	1．9mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	57.9%
				全窒素	1.17mg/ℓ	1．27mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	86.6%
				全リン	0.121mg/ℓ	0．154mg/ℓ	0.08mg/ℓ	0.08mg/ℓ	51.9%

令和7年度　環境目標進捗状況一覧

	取組	環境目標			目標値と実績値				R9に向けた目標達成率
					現状値(R4)	R7実績値	中間目標値(R9)	目標値(R12)	
基本目標2	2-3	猪苗代湖及び流入河川の水質	原川	BOD	0.5mg/ℓ	0.8mg/ℓ	0.5mg/ℓ	0.5mg/ℓ	62.5%
				全窒素	0.45mg/ℓ	0.49mg/ℓ	0.4mg/ℓ	0.4mg/ℓ	81.6%
				全リン	0.024mg/ℓ	0.041mg/ℓ	0.02mg/ℓ	0.02mg/ℓ	48.8%
		農業集落施設水洗化率	赤井		98.8%	99.3%	99.6%	99.9%	99.7%
			共和		95.0%	95.7%	94.7%	95.0%	101.1%
		高度処理型浄化槽の普及率(湊地区)			35.9%	38.8%	40.6%	42.4%	95.6%
		猪苗代湖・流域清掃活動参加者数			未実施	378人	530人	500人	71.3%
基本目標3	3-1	河川水質の基準値達成率			100%	100%	100%	100%	100%
		汚水処理人口普及率			88.4%	90.3%	90.7%	92.8%	99.6%
		水質事故発生件数			33件	4件	15件	10件	375.0%
		地下水における有機塩素化合物非検出率	非飲用		78%	100%	100%	100%	100%
			飲用		100%	100%	100%	100%	100%
		自動車騒音に係る環境基準の達成率			83%	100%	100%	100%	100%
		公害苦情相談件数			33件	27件	15件	10件	55.6%
		放射線の影響に不安を感じる市民の割合			市民:18.3% 児童:42.7% (R4)	—	0%	0%	ー
	3-2	清掃事業への参加人数			701人	2,750人	1,500人	1,500人	183.3%
		野焼き相談件数			14件	4件	0件	0件	0.0%
		農業用使用済プラスチック回収量			88,738kg	102,294Kg	75,000kg	70,000kg	73.3%
基本目標4	4-1	環境学習・セミナー等 への参加人数			379人	126人	1,185人	1,440人	10.6%
		環境関連の出前講座の実施回数			23回	312回	38回	59回	821.1%
	4-2	環境啓発事業参加者数			102人	9,364人	2,000人	5,000人	468.2%
		ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークのパートナー団体数			0団体	0団体	100団体	270団体	0.0%
		公園等緑化愛護会数			72団体	66団体	90団体	95団体	73.3%

市域全体の温室効果ガス排出量(推計値)　状況一覧

(単位:千トンCO_2)

	部門	目標値と実績値					R12までの削減量(直近値-目標値)
		現状値(R元)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値(R12)	
基本目標3	産業部門	205.5	189.9	199.6	213.8	159.8	54.0
	民生業務部門	231.3	192.3	211.8	207.2	140.0	67.2
	民生家庭部門	202.8	179.8	203.2	196.8	79.2	117.6
	運輸部門	202.0	186.9	190.3	194.7	117.2	77.5
	その他	163.8	160.1	159.0	140.8	123.1	17.7
	森林等による吸収	—	—	▲ 33.2	▲ 33.5	▲ 34.3	0.8
	計	1,005.4	909.0	930.7	919.8	585.0	334.8

資料３－１

猪苗代湖の水環境の保全について

１　事業概要

基本目標２「緑豊かな自然を保全し、多様な生物が共生できる“まち”をつくる」

取組２－３「猪苗代湖の水環境を保全します」

【現状値と目標値】

	項目		現状値（R4）	実績値（R6）	実績値（R7）	中間目標値（R9）	目標値（R12）
猪苗代湖及び流入河川の水質（mg/ℓ）	中田浜	COD	1.3	1.4	2.3	0.7	0.7
		窒素	0.22	0.16	0.17	0.2	0.2
		リン	0.005	0.006	0.010	0.01	0.01
	赤井川	BOD	1.1	1.6	1.9	1.1	1.1
		窒素	1.17	1.52	1.27	1.1	1.1
		リン	0.121	0.138	0.154	0.08	0.08
	原川	BOD	0.5	0.9	0.8	0.5	0.5
		窒素	0.45	0.58	0.49	0.4	0.4
		リン	0.024	0.054	0.041	0.02	0.02
猪苗代湖・流域清掃活動参加者数			未実施 ※コロナのため	383人	378人	530人	500人

２　現状と課題

	現状	課題
猪苗代湖及び流入河川の水質	○中田浜 ・pHは湖心の中性化に伴い、7.3前後で安定している。 ・CODは20年程は0.8mg/ℓ前後で安定していたが、ここ数年は上昇傾向にある。 ・窒素・リンは、低い値で推移している。 ○赤井川・原川 ・BODは低く安定しており、窒素・リンは変動あるものの低く安定している。	猪苗代湖関係自治体や住民が連携し、ヒシ・漂着水草の除去等による水質保全活動を継続しているが、弱酸性水質の中性化進行に伴って自然浄化作用が弱くなっていることから、水質が悪化する傾向にある。 現在でも良好な水質を維持しているが、今後とも水質の維持改善に向けた取組を継続する必要がある。
猪苗代湖・流域清掃活動参加者数	○毎年、湊町の住民等に参加いただき、湖岸の清掃活動を実施している。	市民の参加が限られている状況であるため、ラムサール条約湿地登録を契機として、市民の理解を深めるとともに、保全や利活用の行動につなげていくことが必要である。

３　今後の方向性（案）

ラムサール条約湿地として登録された猪苗代湖の魅力や価値について、市民の理解を深めるため、令和８年度は、全市民を対象としたシンポジウムやワークショップを開催しています。

ラムサール条約の理念である「保全・再生」「賢明な利用」「交流・学習」を推進し、猪苗代湖を次世代に継承するため、県や湖岸市町、庁内関係部局等と連携を図りながら、市民参加による保全活動や利活用を推進します。

⑴　保全再生

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会や猪苗代湖環境保全推進連絡会を中心に、市民ボランティアや民間団体等の参加をいただきながら、引き続き、湖岸清掃等を実施します。

（主な取組）

・湖岸一斉クリーンアップ作戦（崎川浜）
・水草・ヒシ回収、ヨシ刈りボランティア及びクリーンアクションへの参加
・ビーチクリーナーによる砂浜清掃

⑵　利活用

猪苗代湖や湊地域について理解を深めていただくことを通し、今後の利活用につなげていきます。

（主な取組）

・水力発電や生活用水、農業用水等としての活用
・ワークショップを通した利活用策の検討

⑶　交流・学習

市民の清掃活動への参加や「こども交流会」などを通し、猪苗代湖やその関係者との交流機会を創出することにより、市民等の環境意識の高揚を図ります。

（主な取組）

・自然観察会や出前講座（学びの場の提供）
・清掃活動への参加（市民自身が環境を守る担い手）
・環境フェスティバル（情報発信や交流）
・こども交流会（こども達の交流の場の創出）